



番匠川 野鳥観察マップ

国土交通省 九州地方整備局
佐伯河川国道事務所
TEL.0972-22-1880 FAX.0972-23-7481
〒876-0813 大分県佐伯市長島町4丁目14-14
<http://www.qsr.mlit.go.jp/saiki/>
E-mail saiki@qsr.mlit.go.jp



バードウォッチングに出かけよう！

堤防の上の道や河川敷の公園など見通しの良い場所が多い番匠川は、バードウォッチングの初心者でも鳥を観察しやすい環境といえるでしょう。

じゅんび 準備するもの

双眼鏡



双眼鏡は7倍～10倍のものが使いやすいでしょう。

望遠鏡



望遠鏡は遠い場所にいる鳥をしっかりと観察するのに便利です。倍率は20倍程度のものがよく使われています。

その他

図鑑：種類の特徴をしっかりと見分けられます。

筆記用具：観察した結果をノートに書き記しておくと良いでしょう。

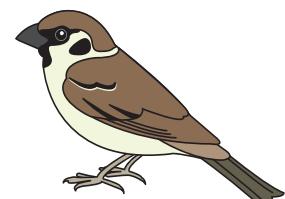
カメラ：観察に慣れてきたら望遠カメラを使って野鳥写真の撮影にチャレンジしてみては？

鳥の見分け方

まずは大きさをつかむことが大事です。身近な鳥、例えばスズメ、ムクドリ、キジバト、カラスなどを「ものさし鳥」として覚えましょう。種類を見分けるポイントとなるくちばしの形、からだの形、模様などをゆっくりと観察しましょう。鳥がいる周囲の環境、観察した季節もヒントになります。

鳴き声を覚えるには鳥の声を人の言葉におきかえた「聞きなし」が有効です。また市販されている鳥の鳴き声をあつめたCDなどで予習しておくと良いでしょう。

普段から鳥の図鑑を眺めておくと早く見分けられるようになります。



スズメ 全長約14cm

鳥の見つけ方

まずは肉眼で鳥の居場所を探します。そのとき鳴き声が居場所を探す大きなヒントになるでしょう。鳥を見つけたら、その周辺の目印を記憶してから、双眼鏡や望遠鏡を覗き込み観察します。

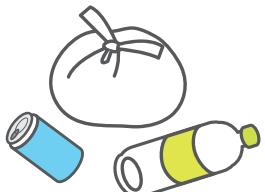
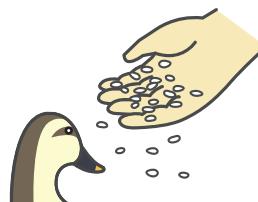


野鳥を観察する際の心得

野鳥に悪い影響を与えないようにマナーを守って観察しましょう。



静かに遠くから観察しましょう。



餌をやらないようにしましょう。



車で河原に乗り入れないようにしましょう。



ごみを捨てないようにしましょう。



ひな 雛は拾わないようにしましょう。



ペットの放し飼いはやめましょう。

番匠川ミニ野鳥図鑑（留鳥・夏鳥）

番匠川水系ではこれまでに110種類以上の鳥が確認されています。
ここでは番匠川とその支川でよく見られる鳥を掲載しました。



カツツブリ (カツツブリ科)

分布：中流・下流・井・久・堅

全長約 26cm。全身黒褐色に見える小さな鳥。水中に潜って小さな魚、エビ類、貝類、水草などを食べる。ヨシ原などに水草を集めて浮き巣をつくる。鳴き声は「ケレレレ…」「ピリリ。」など。



カワウ (ウ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・堅

全長約 80cm。全身黒色の大きな水鳥。水中に潜って魚を食べる。樹林地に集団で営巣する。鳴き声は「グルーン。」「グワッグワッ。」など。



ミサゴ (タカ科)

分布：上流・中流・下流・久・堅

全長約 60cm。トビとほぼ同じ大きさ。翼が細長く体下面の白が目立つタカ。上空から狙いを定めて水面にダイビングしてボラ、スズキ、コイ等の魚を捕える。海岸近くの岩棚や樹林に巣を作る。



カルガモ (カモ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・堅

全長約 60cm。雄雌ともに褐色のカモ。くちばしは黒く先端が黄色い。草の実や葉、水生昆蟲などを食べる。草むらなどの地上に枯れ草などで巣をつくる。鳴き声は「ゲゲエ。」など。



ダイサギ (サギ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・堅

全長約 90cm。全身白色の大きなサギ。河川や水田の浅い水域で魚やカエルを食べる。樹林地に他のサギ類と一緒に集団で営巣する。鳴き声は「グワー。」など。



コサギ (サギ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・堅

全長約 60cm。全身白色の小さなサギ。足指は黄色。河川や水田の浅い水域で魚やカエルを食べる。樹林地に他のサギ類と一緒に集団で営巣する。鳴き声は「ゴワー。」など。



イカルチドリ (チドリ科)

分布：上流・中流・井・久・堅

全長約 21cm。ムクドリくらいの大きさ。河川の砂礫地やその周辺で昆虫類などをついぱむ。中流域の礫の多い河原や中州で、砂利の上に窪みをつくり産卵する。鳴き声は「ピオピオ。」など。



ヤマセミ (カワセミ科)

分布：上流・中流・井・久

全長約 38cm。頭～尾羽まで白黒の鹿の子斑模様が目立つ。山地の溪流などで小魚を捕える。カエルやサワガニなどを食べることもある。土でできた崖に横穴を掘って営巣する。鳴き声は「ケレツツケレッ。」。



カワセミ (カワセミ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・堅

全長約 17cm。背面のコバルトグリーンが美しい鳥。水中にダイビングして小魚を捕える。魚のほか、エビ、水生昆虫、カエルなどを食べる。水辺の土でできた崖に横穴を掘って営巣する。鳴き声は「ツィー。」



ヒバリ (ヒバリ科)

分布：中流・下流・井・堅

全長約 17cm。茶褐色の小鳥で冠羽 (ながね) がある。歩きながら雑草の種子、昆蟲類などを食べる。草地の地上に枯れ草などで巣をつくる。飛びながら「チーピ、チュクチュクチー、ピーピーピー。」などと鳴る。

冬鳥・北方から秋に渡り、越冬したあと春には北方へ帰る鳥



マガモ（カモ科）

分布：中流・下流・久・堅

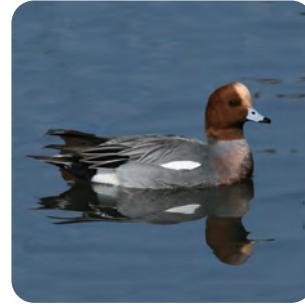
全長約 60cm。雄の頭は緑。日中は川の水面などで休んでいる。主に夜間に水田などで草の実をついばむ。家禽として飼われているアヒルの原種。鳴き声は「グエッグエッ。」



コガモ（カモ科）

分布：上流・中流・下流・井・久・堅

全長約 38cm。日本のカモでは最も小さい種類。河川や公園の池などに普通にみられる。水田や水辺で草の種子・茎・葉などを食べる。鳴き声は「ピリップリット。」「グエッグエッ。」など。



ヒドリガモ（カモ科）

分布：中流・下流・堅

全長約 49cm。雄は額から頭頂にかけてのクリーム色が目立つ。草の種子のほかアオサなどの海藻類も食べる。鳴き声は「ピュー、ピュー。」など。



オオバン（クイナ科）

分布：中流・下流・堅

全長約 39cm。全体は灰黒色で額と嘴は白色。湖沼や水辺の草やアシの中で生息。陸上を歩くこともあるが、水上生活が多い。主に水生植物を食べるが、魚類・鳥類の卵、昆虫なども食べる。鳴き声は「キュキュー。」など。



ウミネコ（カモメ科）

分布：下流・堅

全長約 47cm。嘴は黄色で、先端に黒と赤の斑があり、脚は黄色。魚やイカ、貝などを食べる。鳴き声は猫に似た声で「ミャーオ。クワーオ。」など。



ツグミ（ツグミ科）

分布：上流・中流・下流・井・久・堅

全長約 24cm。平地から山地の草地、農耕地、樹林地に生息し、地上でミミズ類や昆虫類を捕える。ハゼノキ等の果実や柿の種子を好んで食べる。鳴き声は「ケックエッ。」など。



アオアシシギ（シギ科）

分布：下流

全長約 35cm。体の上面は灰色で黒い斑がある。腹は白い。嘴が長くてやや上に反っている。干潟、湿地、水田で活発に歩きながら昆虫類や甲殻類を採食。鳴き声は「ピューピューピュー。」など。



ソリハシシギ（シギ科）

分布：下流

全長約 23cm。体の上面は灰色で胸から腹は白い。脚は黄色。嘴が長くて上に反った嘴が特徴。干潟を活発に歩いてゴカイ類や小さな虫などを食べる。鳴き声は「ピッピッ。」「ピリッピリッ。」など。



キアシシギ（シギ科）

分布：上流・中流・下流・久・堅

全長約 27cm。ムクドリよりも少し大きい灰色のシギ。脚は黄色。河口の干潟のほか、水田や内陸湿地などでもみられる。砂泥地などでカニ、ゴカイ、昆虫類などを食べる。鳴き声は「ピュイー。」など。



チュウシャクシギ（シギ科）

分布：中流・下流・堅

全長約 42cm。長い嘴をもつ大型のシギ。河口干潟や周辺の水田などに生息する。砂泥地で大型のカニ類をよく捕える。飛び立つ時などに「ホイッ、ピピピピ。」などと鳴く。



キセキレイ (セキレイ科)

分布：上流・中流・井・久・堅

全長約 20cm。尾羽が長く下面は黄色。水辺を歩いたり、空中に飛び上がったりして昆虫類を捕える。水際の崖の窪み、人家の軒下などに巣をつくる。高い澄んだ声で「チチン、チチン。」と鳴く。



セグロセキレイ (セキレイ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・堅

全長約 21cm。尾羽が長く体の上面は黒く、下面是白い。水辺を歩いたり、空中に飛び上がったりして昆虫類を捕える。屋根の下や河原の石の下などに巣をつくる。飛びながら「ジー、ジー。」と濁った声で鳴く。



アカショウビン (カワセミ科)

分布：上流・中流・久

全長約 27cm。全体が鮮やかな赤褐色で、くちばしが赤色。広葉樹林に生息し、枯木などに穴を掘って巣を作る。サワガニ、カエルなどの小動物や虫をとる。「ヒヒヨロロ・。」とだんだんと小さくなる声で鳴く。



ヒヨドリ (ヒヨドリ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・堅

全長約 28cm。全身灰色で尾が長い。人家周辺から山地まで様々な林で花の蜜、果実、昆虫類などを食べる。樹林地や庭木などに巣をつくる。鳴き声は「ピーヨ、ピーヨ。」など。



ホオジロ (ホオジロ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・堅

全長約 17cm。体は茶褐色で顔は眉と頬、喉が白色。イネ科の雑草の種子や昆虫類を食べる。草のかけや低木の枝などに巣をつくる。さえずりは「一筆書きのうかまつ そうろう 啓上仕り候。」などと聞きなされる。



アマツバメ (アマツバメ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・堅

全長約 20cm。ほぼ全身黒褐色で腰が白い。ツバメより翼は細長い。巣に戻る時以外は空中で過ごし、飛翔しながら空中の虫を食べる。海岸や山地の絶壁で繁殖する。鳴き声は「ツィリリリ。」など。



カワラヒワ (アトリ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・堅

全長約 14cm。翼にある黄色い模様が綺麗な小鳥。河川敷の草地などで草の種子などを食べる。樹林地や公園の樹木などに巣をつくる。鳴き声は「キリキリ、コロコロ。ジュイー。」など。



スズメ (ハタオリドリ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・堅

全長約 14cm。人が生活しているところならほとんどの場所で見られる小鳥。草の種子や昆虫類を食べる。人家や橋などの隙間に巣をつくる。鳴き声は「チュン、チュン。」など。



ツバメ (ツバメ科)

分布：上流・中流・下流・井・久・堅

全長約 17cm。河川や水田などの上空を飛びまわって空中の昆虫類を捕える。住宅や駅などの軒下に巣をつくる。秋には河川敷のヨシ原に大規模なねぐらを形成する。「チュイチュイ。」と鳴きながら飛ぶ。



ハシボソガラス (カラス科)

分布：上流・中流・下流・井・久・堅

全長約 50cm。嘴は細く額と嘴の間の段差は小さい。雑食性で生ゴミを食べたり、果実、昆虫、鳥の卵など様々なものを食べる。樹木や電柱などに巣をつくる。濁った声で「ガー、ガー。」と頭を上下させて鳴く。



ハシフトガラス (カラス科)

分布：上流・中流・下流・井・久・堅

全長約 57cm。嘴は太く額と嘴の間の段差は大きい。ハシボソガラスと同様に雑食性である。樹木や建物などに巣をつくる。澄んだ声で「アー、アー。」や「カアー、カアー。」などと鳴く。



オオヨシキリ (ウグイス科)

分布：中流・下流・井・久・堅

全長約 18cm。淡褐色の地味な小鳥。河岸などのヨシ原に生息し、ヨシ原や草地などで昆虫類を捕える。密生したヨシ原に巣をつくる。「ギョギョシ、ギョギョシ、ケケシ、ケケシ、チカチカチカ。」とやかましく鳴る。

番匠川野鳥観察マップ

